

平成30年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200188	事業の開始年月日	平成24年7月1日
		指定年月日	平成30年7月1日
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中		
所在地	( 211-0041 )		
	神奈川県川崎市中原区下小田中3-28-18		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員 名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員 名	
		宿泊定員 名	
		定員計 18 名	
		ユニット数 2 ユニット	
自己評価作成日	平成30年10月22日	評価結果 市町村受理日	平成31年2月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは、利用者様に対し「1日に何回笑って頂けるか」を目標とし、「その人らしさ」を大切にされたケアを、日々、心掛けております。認知症や心身の障害があっても、いついかなる時でも、人が人らしくあり続ける為、施設に入居される以前と同じように自分らしいライフスタイルで生活して頂く為、入浴や散策、余暇活動等の時間設定を極力設けず、お一人お一人の個性や趣向を重視した「したい時にしたい事ができる環境」作りも進めております。又、地域に根付いた認知症対応型施設として、近隣の地域活動にも積極的に参加する事で交流を図る他、様々な機会を通じて新たな出会いや触れ合いを大切にして行きます。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	平成30年11月22日	評価機関 評価決定日	平成31年2月17日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR武蔵中原駅から徒歩13分ほどの住宅地内にあります。全国269ヶ所のグループホームを運営する株式会社から、平成28年9月に他法人傘下に入り、「医療福祉サービス事業」の一員として活動を開始しています。

<優れている点>

レクリエーション、日常の体操、買い物、散歩などを積極的に行い、意欲・やる気を引き出し、ストレスの緩和を目指しています。玄関前の広いスペースを使って近隣の人々に気軽に参加してもらえらる催しをしたりして交流を進め、「ご近所のお付き合い」を皆で楽しんでいます。施設の車を使って水族館に出かけたり、父の日には男性入居者に外食を楽しんでもらうなど、機会をとらえ「外出支援」を積極的に行っています。

<工夫点>

サービス計画の策定及び見直しにあたっては、本人が「私らしく、安らかに、生き活きと」暮らしていけるケアプランを皆で作成しています。毎日原則2時間ごとに作成する「ケア記録」があり、OJTを通じて「記録の仕方を職員全員が共有する」努力が継続して行われています。個人別の「サービス内容実施記録表」でサービス提供が確実に行われたかを確認し、捉えた情報を基に、ケアプランの長期目標、短期目標が定められ、もう一段上のケアプランに繋がっています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	1階 せせらぎユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	運営理念をホーム全体で共有・実践する為、運営理念の揭示、確認を実施しております。	法人の理念、クレドを全職員に携帯可能な形で配布しています。事業所の運営理念は、玄関などに掲示し、諸会議開催の冒頭には、法人理念・クレド・ホーム運営理念のいずれかを確認してから開始しています。議事録にも記録が残されています。	運営理念の共有は確実に行われています。事業所独自の具体的な運営理念・目標の設定を、職員も参画して実現したいとしています。より高いレベルに向けたホーム運営につながる様に期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加、地域の方々のレクボランティア、近隣保育園等との交流を図っております。	自治会に加入し、地域包括支援センターとの連携を大切にしています。町内会の祭り、盆踊りなどにも積極的に参加しています。地域の人々によるレクボランティアの来訪や、近隣保育園児の来訪も続いています。入居者も楽しみにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。	家族・自治会々長・地域包括支援センター職員を委員としています。ホームの運営・行事活動・ヒヤリハット・事故などの報告をして議論を行っています。議事録は、全委員に配布します。ホーム行事と会議開催日の同時開催も計画しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	グループホーム連絡会の参加や、管理者が定期的に区役所等に赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。	定期的に区役所などに出向き、運営推進会議議事録などを報告しています。中原区グループホーム連絡会に参加して、市職員と情報交換を行っています。日常的には、地域包括支援センター職員との連携を大切にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的を実施し、ホーム全体での理解に努めております。	身体拘束その他行動制限廃止を契約書に謳っています。身体拘束マニュアルを整備し、廃止推進委員会を設置しています。年2回の全体研修や、2ヶ月ごとのユニットリーダー会議で検討し、職員へ周知徹底しています。出入口は安全面から家族の了承を得て施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的を実施しホーム全体での理解に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。	重要事項説明書に苦情相談窓口として法人本部や事業所の連絡先を明示し、玄関に「苦情等受付窓口」の表示があります。家族には運営推進会議や面会時などに意見を聞いています。毎月のホーム便りで細かく近況を知らせ、コミュニケーションを図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。	管理者は3ヶ月に1回職員の個人面談で要望など聞いています。月1回のユニット会議、ホーム会議でも意見や提案など発言の場があります。事務所には法人宛の「MCSホットダイヤル」が掲示されており、職員が相談出来る環境が整っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも積極的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的に同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切にしたい、日課作りを進めております。	友人の来訪があり居室で交流しています。家族と一緒に墓参りや入居前の病院に定期的にかかるなど馴染みの場所に出かけています。また、家族との交流のため出かけていくなど、住み慣れた場所や人との関係継続の支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。	これまでの生立ちや生活歴、習慣、何をしたいかなど、入居者本人・家族との会話から、一人ひとりの思いを把握しています。本人の意向・思いの変化は、日常のケア記録を参考に、関係者が相談し、ケアプランに反映します。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。	「サービス計画書」を活用して生活目標（長期・短期）を作成、これに基づく支援内容（サービス内容）を策定しています。日々の「サービス内容実施記録」により、把握され実行できたかを確認し、その後の介護計画に繋げています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。	本人・家族が希望するかかりつけ医の訪問診療を受けています。大半の利用者は事業所の協力医の月2回の往診を受けています。数名は近隣の医院をかかりつけ医に指定しています。その他、歯科医院、緊急時の病院などは提携先を受診しています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケアを行った実績もあります。	「希望された場合に限り看取り介護も実施しています」とパンフレットに記載しています。入居時に、「看取りケアに関する対応」「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し、家族の同意を得ています。ターミナルケアの体制も整備されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	過去の事例をもとにした事故や急変時の検証を行うとともに、ホームでの研修を定期的に行い、実践力の向上と技術の発展に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、万が一の状況に備えております。	消防署に届け出を行い、年2回防災訓練を実行しています。事業所の自営消防団を編成し、職員の役割を明示しています。法人本部の備品リストがあり、事業所としての優先順位を踏まえて、予算の中で年々備蓄を充実させています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。	個人情報などの取り扱いについては重要事項説明書に記載しています。日々の中で一人ひとりの生活リズムを大切にし、プライバシー確保の意識を職員間で高めています。入浴や排泄時の声かけなどでは人格の尊重を心がけています。個人情報は事務所ロッカーで管理しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居者様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居者様の希望に添えるように、衣類選びやお化粧品なども行って頂いております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居者様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。	献立、主要な食材は法人より配送され、専門の職員が調理しています。入居者は職員と一緒に調理や食器洗いなどを手伝っています。手打ちそば、寿司、天ぷらなど、職人が来て提供するイベントは入居者の楽しみとなっています。個別対応で好みの外食、おやつ作りもしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専属の調理師を配置し栄養管理に努めており、また記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。また歯科衛生士による定期的な指導も受けております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。	水分排泄チェック表を活用し、定時、随時のさりげない声かけでトイレ誘導をしています。おむつ使用を出来るだけ避け、転倒リスクの高い入居者も車いすや手引きでトイレに誘導しています。夜間のみおむつ、リハビリパンツ、パット使用の人がいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り入れ、便秘の解消に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	極力、ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。	入浴は基本的に週2回、本人の体調、要望に合わせることを大切に、同性介助にも配慮しています。好みの入浴剤やシャンプーなどを持ち込み、楽しい時間となっています。入浴を嫌がる場合は時間帯をずらしたり、人を変えるなど工夫して支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。	寒暖に拘わらず車いすの人も含め、外気浴や近隣の散歩によく出かけています。希望の買い物をしたり、公園でゲートボールに参加させてもらうこともあります。事業所の車で花見や紅葉狩り、水族館などへ家族と協力しながら季節ごとに外出支援をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行っております。	リビングにはソファやテレビが置かれています。壁には写真や入居者と一緒に作成した季節の飾り、階段にも大きなちぎり絵の作品などを掲示しています。快適な室温、湿度を保ち、テーブルの配置にも気配りがされています。屋外の花壇、菜園で収穫を楽しんでいます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況にあります。ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。	居室入口は大きな表札、顔写真や作品などで分かりやすくなっています。エアコン、クローゼット、照明は備え付けです。馴染みの家具や机、ぬいぐるみなど、好みの物を飾っています。ベッドのほか、布団を敷き座卓を置くなど個性豊かに居心地よい暮らしを楽しんでいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心して安全な生活を送って頂いております。		

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	2階 パンジーユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	運営理念をホーム全体で共有・実践する為、運営理念の揭示、確認を実施しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加、地域の方々のレクボランティア、近隣保育園等との交流を図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	グループホーム連絡会の参加や、管理者が定期的に区役所等に赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的に行い、ホーム全体での理解に努めております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的に行い、ホーム全体での理解に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも精力的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的な同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切に、日課作りを進めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケアを行った実績もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	過去の事例をもとにした事故や急変時の検証を行うとともに、ホームでの研修を定期的に行い、実践力の向上と技術の発展に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、万が一の状況に備えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居者様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居者様の希望に添えるように、衣類選びやお化粧品なども行ってまいります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居者様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専属の調理師を配置し栄養管理に努めており、また記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。また歯科衛生士による定期的な指導も受けております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り入れ、便秘の解消に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	極力、ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況にあり、ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心して安全な生活を送って頂いております。		

平成30年度

## 目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム中原下小田中

作成日： 平成 31年 2月 22日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	会社としての理念の共有はできているが、事業所独自の具体的な運営理念がない。	事業所としての具体的な運営理念を定め、より高いレベルに向けた運営に繋げる。	職員との話し合いのもと、事業所独自の理念を定め、各フロア、事務所に掲示する。定めた理念をもとにその理念を実践していく。	2ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月